



▲内野川の浄化活動を発表する児童



▲ホタルロードの開通を祝う関係者

「須子ばあちゃんの台所」開所式

有明

念願の食品加工所がオープン！

5月23日、須子地区に食品加工所「須子ばあちゃんの台所」がオープンしました。この加工所は、地元食品加工グループが、市と同地区振興会からの補助を受けて、JAあまくさの店舗の一部を改修して整備したもの。この日店内には、コロッケやきんぴら、手づくりパンなどがずらりと並び、雨にもかかわらず多くの買い物客で大盛況。同地区振興会・川口敏勝会長は、「お年寄りの『買い物難民化』の歯止め役として期待している」と話していました。



▲開所を記念して加工所の看板を除幕するようす

福連木小学校炭焼き体験活動

天草

“福炭”できました！

5月16日、福連木小学校で炭焼き体験活動が行われました。これは同校が、地区住民といっしょに活動することで、伝統や働くことの大切さを学ぼうと毎年実施しているもの。この日は、児童や保護者、福連木里づくり振興会員など60人が参加。子どもたちは、窯出した桜の木で作った炭を、ノコギリでていねいに切り分けていました。できた約350kgの炭は、“福炭”と銘打ち福連木子守唄まつりなどで販売する予定で、売り上げの一部は図書購入や寄付にあてられます。



▲ていねいに炭の切り分け作業をする子どもたち

仕切網漁体験

新和

海と山の大自然を満喫！！

5月15日、宮地浦湾で「第4回仕切網漁体験」が行われ、県内外から家族連れなど約200人が参加しました。仕切網漁は、満潮時に湾口を網で仕切り、干潮時に閉じ込められた魚を捕る漁法。参加者は、同湾でとれた魚のバーベキュー料理で腹ごしらえをしたあと、潮が引いた湾内へ一斉に突入。タモ網を握りしめて、チヌやミズイカ、ヒラメなどを水しぶきをあげながら追いかけて捕っていました。中には体長約50cmのタイを捕まえる人もいたなど、たいへんにぎわいました。また、翌16日には新和緑の村キャンプ場で、魚のすり身づくり体験やカライモ植え体験なども行われ、参加者は海と山の大自然を満喫していました。



▲大きい魚捕まえたぞ！！



▲慣れない手つきで魚を細かく切る子どもたち

一人暮らし高齢者の集い

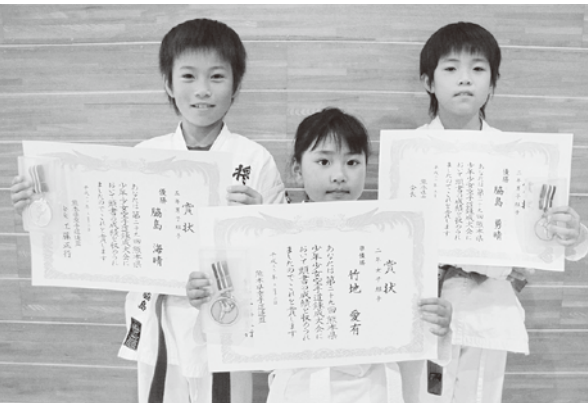
倉岳

一人暮らしのお年寄りが
一同に会し楽しむ

6月1日、「一人暮らし高齢者の集い」が倉岳老人福祉センターで開かれ、70歳以上の高齢者62人が参加しました。これは、市社会福祉協議会・倉岳支所が、一人暮らしの高齢者どうしの交流を深めることなどを目的に毎年開催。健康チェックや体ほぐしのほか、手遊びや歌などのレクリエーションを行いました。また、苓陽幼稚園の園児による倉岳音頭などの披露があり、参加者はかわいい園児の踊りに目を細めながら、楽しいひとときを過ごしていました。



▲倉岳音頭を披露する園児



▲賞状とメダルを手にする脇島海晴くん(左)・勇晴くん(右)兄弟と竹地愛有さん(中)

熊本県少年少女空手道錬成大会

御所浦

御所浦から全国大会に3人が出場！

5月16日、菊池市総合体育館で「第29回熊本県少年少女空手道錬成大会」が開催されました。同大会の組手競技の部には、県内の小学生474人が参加し、将真館の脇島海晴くん（御所浦小学校5年）・勇晴くん（同3年）が兄弟そろって優勝、また、竹地愛有さん（同2年）が準優勝し、8月8日に東京武道館で開かれる「全日本少年少女空手道選手権大会」への出場権を獲得しました。3人は、「優勝を目指してがんばります」と元気に話していました。